

おおさき

第11号



# 市議会だより

編集発行 大崎市議会 郵便番号 989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24番地3 電話0229(52)5838



第25回 2008鳴子牛COWニバル

## 目次

- 第2回定例会 ..... 2～4ページ
- 議会の主な動き ..... 2～4ページ
- 常任委員会活動報告 ..... 5～6ページ
- 一般質問 ..... 7～9ページ
- 第2回臨時会 ..... 10ページ
- 人事・特別委員会設置・意見書・請願・表彰 ..... 11ページ
- 議案と審議結果 ..... 11～12ページ
- 編集を終えて ..... 12ページ

第2回定例会

# 大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を修正可決

平成20年第2回定例会は、6月17日に招集され、7月1日までの15日間の日程で行われました。

今定例会には、市長提出の平成20年度大崎市一般会計補正予算を初めとする予算案2件、条例案13件、人事案1件、報告4件、その他8件、及び議員提出議案9件が提出されました。

このうち、議案第92号平成20年度大崎市一般会計補正予算（第1号）、議案第100号大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対し、それぞれ修正案が提出され、採決の結果、議案第100号大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例は修正可決され、その他の議案は、原案のとおり可決されました。

提案された議案のうち、補正予算関係、条例関係などについて質疑が行われ、その主な内容は次のとおりです。

### 子育て支援

**問** 子育て支援策検討会議から提言を受けた、小学校入学後の低所得者への援助や長期入院に対する支援、所得制限の緩和等を、どういう形で実現を図ろうとしているのか。

**答** 提言を受けた施策を実施するためには、億に近い財政負担が生じ、現在の大崎市の財政状況においては厳しい状況にある。優先順位を決め、財源の確保を全庁挙げて進めながら、できるだけ最優先で進めていきたい。

### 障害者福祉施設の整備

**問** 大崎市西部の地域では、障害者福祉サービスを提供する事業者が十分ではなく、東部と西部の差がかなりあることから、整備を急ぐ必要があるのではないか。

**答** 行政みずから障害者福祉施設の整備を行うという考え方は、今のところ持ち合わせていない。民間の力をかりて整備をしていきたいと考えている。

### 敬老会

**問** 敬老会の開催に当たり、お世話をいただいている婦人会にも後継者不足の問題がある。今後、婦人会等に頼りながら開催するのではなく、

新たな発想が必要な時期になったのではないかと。

**答** 一気に自主開催というところまではできないので、実行委員会組織等をつくっていったきながら、古川地域で行っているような町内会単位での自主開催という方向性で進めていきたいと考えている。



敬老会（鳴子温泉地域）

## 議会の主な動き

### 5月

- 14日 議員全員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 20日 議員全員協議会
- 21日 議員全員協議会
- 本会議（第1回臨時会招集日）
- 総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 産業常任委員会
- 建設常任委員会
- 議会運営委員会
- 情報化対策特別委員会
- 本会議

### 6月

- 26日 議会運営委員会
- 情報化対策特別委員会
- 本会議
- 総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 産業常任委員会
- 建設常任委員会
- 議員全員協議会

### 6月

- 2日 情報化対策特別委員会
- 5日 民生常任委員会
- 6日 建設常任委員会
- 総務常任委員会
- 議員全員協議会
- 10日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会
- 16日 総務常任委員会所管事務調査
- 17日 議会運営委員会
- 議員全員協議会

空き店舗対策

**問** 鳴子温泉地域の空き店舗対策、あるいは「ゆめぐり広場」の整備等、にぎわい回復に向けて拠点になると思われるが、ポイント整備だけでなく、周辺道路等の整備など、もう一度来たくなるようなトータル的な面整備が、もっと必要なのではないか。

**答** 湯めぐり回廊という計画に基づき、面的整備を進めていきたい。

周辺道路については、市道と県道の整備をあわせながら進めていかなければならないと考えている。



ゆめぐり広場

農業委員会事務局

**問** 県合同庁舎への農業委員会事務局の移転の理由として、どういった部分が大きく影響しているのか。

**答** 各地域の利用者の件数、法務局、県関係等を検討し、古川地域が望ましいと判断した。



移転した大崎市農業委員会事務局

**問** 市の財政状況が厳しい中で、歳出削減等集中改革プランを進めているが、使用料を払い合同庁舎を借りることは、いかがなものか。

また、少々の不便は我慢しても総合支所のスペースを使うことはできなかったのか。

**答** 総合支所等の活用は検討したが、住民情報系のネットワークを整備することにより、ワンストップサービスが可能となり、利用者には不便が感じられないことから合同庁舎に決定した。

子どもと親の相談員事業

**問** 子どもと親の相談員が配置されていない学校への対応を、どのように考えているのか。

**答** 各学校の要望に応じて配置しているが、今後の配置については、県のソーシャルワーカー活用委託事業の継続要望など、後退することのないよう努めていきたい。

語学指導外国青年招致事業

**問** 語学指導外国青年招致事業を行った効果等の検証は行っているのか。また、顕著に効果が見られることはあるのか。

**答** 数值的に比較検証したデータは持っていないが、生きた英語に触れることによって、生徒のコミュニケーション能力は確実に高まってきている。また、小学校においても、異文化への興味、関心が高まり、

国際理解への感覚の醸成に役立っている。

**問** 現在、市立中学校11校中9校に外国語指導助手が配置されている。古川地域だけ各中学校ごとに1人の配置がされていないが、今後の見通しはどうなっているのか。

**答** 新学習指導要領の改訂に伴い、中学校専属、あるいは小学校及び幼稚園への派遣専属の外国語指導助手の配置も含めて、重要な検討課題と認識している。

小学校は平成23年度、中学校は平成24年度の配置を視野に努力していきたい。



外国語指導助手による語学指導

17日	6月	情報化対策特別委員会 本会議(第2回定例会招集日)
19日		民生常任委員会 産業常任委員会所管事務調査
20日		民生常任委員会 総務常任委員会
23日		本会議
24日		議会運営委員会 本会議
25日		産業常任委員会 総務常任委員会
26日		本会議
27日		議会運営委員会 本会議
30日		民生常任委員会 議員全員協議会 情報化対策特別委員会
1日	7月	本会議
3日		平成20年岩手・宮城内陸地震災害対策調査特別委員会 建設常任委員会所管事務調査
14日		平成20年岩手・宮城内陸地震災害対策調査特別委員会
15日		産業常任委員会



地震による被害状況現地調査

**学校施設の耐震補強**

**問** 国は、地震対策を早急に進めるため、学校の耐震補強工事の補助率を上げるなど、ここ3年くらいで一気に進めようとしているが、大崎市の計画はどのようになっているのか。

**答** 学校の耐震補強工事は、平成18年度から平成23年度まで計画を組みながら進めていく予定である。国の補助率のかさ上げ等も出てきているので、今後検討したいと考えている。

**問** 上野目小学校がIs値1.0でも、岩手・宮城内陸地震で被害を受けたが、古川第二小学校の過去の耐震診断結果のIs

値0.7以上をうのみにして耐震補強を行っていくのか。

**答** スリット、鉄骨ブレース等の整備箇所がチェックされており、県教育委員会の書類審査や社団法人建築研究振興協議会からの耐震補強設計に対する評価をもとに、工事の発注を行っている。

**食育の推進**

**問** 食の大切さが叫ばれている中で、食育の大切さを話し合い、その具現化に向けた教育関係と農政の連携が図られているか。

**答** 食育については、基本的に学校でも行っていく必要があるが、家庭でもより多くの部分でかかわりがあると考える。市の食育推進計画等に教育委員会の職員も参画しながら一緒に活動している。

**問** 食育というものは、つくる喜びから成り立つものと考ええる。食べるところからの食育ではないと考えるがいかがか。

**答** 教育としては、つくる喜びに加えて感謝の心を養うことも大切な視点と考えている。平成20年度、古川第四小学校が食育のモデル校に指定され

たので、研究をしていただきながら、食と農の関係を考え、感謝の心を養うことを大切に、学校現場が取り組めるよう支援していきたい。

**討論**  
議案第92号 平成20年度大崎市一般会計補正予算（第1号）に対する修正案  
(図書館等建設用地取得経費関係)

**賛成** 図書館用地は、既に土地収用法の手続きをとり取得済みである。地権者も租税特別措置法の特別控除が適用されており、事業計画が変更されれば、特別控除の取り消しも懸念されることから、さらに検討が必要であり、修正案に賛成する。

**反対** 旧合同庁舎跡地の取得は、中心市街地を活性化するためにも必要である。事業には計画性が必要であるが、既已取得してある土地も、今後議論してよりよい形にしていけばよいと思うので、修正案に反対する。

**討論**  
議案第92号 平成20年度大崎市一般会計補正予算（第1号）に対する修正案  
(農業委員会事務局移転経費関係)

**賛成** 逼迫した財政状況の中で、本庁機能を有する岩出山、三本木総合支所の空きスペースを使わず、新たに大崎合同庁舎へ農業委員会の事務局を設けることは、行政改革に反することであり、修正案に賛成する。

**反対** 大崎合同庁舎への農業委員会事務局の移転は、市民サービスを一層向上させるため、県、市、農政部局等の連携を考慮したものであり、農業者以外への市民サービスも提供できるので、修正案に反対する。

**第2回 定例会**  
傍聴人数 **45人**  
※皆様の傍聴をお待ちしております。

**討論**  
議案第100号 大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対する修正案

**賛成** 現下の市民生活は厳しい状況にあり、できる限り負担増を抑制することが重要である。税率を修正しても、財源の確保は可能であるため、修正案に賛成する。

**反対** 国保財政を健全に維持していくためには、計画的な平準化の視点に立った税率改正が必要であるため、修正案に反対する。

19日	11日	1日	8月	31日	29日	28日	25日	15日	7月
民生常任委員会	情報化対策特別委員会	民生常任委員会		情報化対策特別委員会	本会議	本会議(第2回臨時会招集日)	議会運営委員会調査	建設常任委員会所管事務	15日～17日

# 常任委員会活動報告

## 総務常任委員会

### 開催日

平成20年1月29日・30日

### 会議・視察内容

①義務教育施設の現状について

(古川第一小学校、松山小学校、岩出山小学校、川渡小学校、古川中学校、古川南中学校、岩出山中学校、鳴子中学校、田尻中学校、田尻学校給食センター)

### 概要

大崎市の義務教育施設等の平成18・19年度の事業別整備状況、耐震補強、大規模改造等の実施状況について、小学校4校、中学校5校、学校給食センター1施設の整備状況等を、現地において調査を行い、担当者から説明を受けた。

### 開催日

平成20年6月6日

### 会議内容

- ①大崎市後期過疎地域自立促進計画の変更について
- ②大崎市学校給食基本構想について
- ③大崎市立岩出山小学校川北



廃止が決まった岩出山小学校川北分校

分校の廃止について

④小中学校の施設整備及び耐震化事業について

⑤日本フルブライトメモリアル基金米国教育者招聘事業について

⑥旧宮城県古川合同庁舎跡地の取得について

### 概要

大崎市後期過疎地域自立促進計画の変更等6カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

### 開催日

平成20年6月16日

### 視察内容

①平成20年岩手・宮城内陸地震による市内の施設等の被害状況調査

(上野目小学校、旧有備館及び庭園、古川出土文化財管理センター、田尻文化センター、岩出山小学校川北分校)

### 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による市の学校教育施設等の被災状況について、現地において調査を行い、担当者から説明を受けた。

### 開催日

平成20年6月17日

平成20年6月20日

平成20年6月25日

### 会議内容

①請願第3号「核兵器廃絶平和のまち大崎市宣言」の早期実現を求める請願審査



## 民生常任委員会

### 開催日

平成20年1月29日

### 会議内容

①大崎市地域福祉計画策定中間報告について

②ラムサール条約に基づく湿地登録について

③大崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について

④高齢者外出サービス(福祉有償運送)事業について

⑤平成20年度施行の医療制度改正に係る対応について

⑥大崎市子育て支援策検討会議の設置について

⑦妊婦一般健康診査公費負担について

⑧大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑨大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑩大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑪大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑫大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑬大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑭大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

⑮大崎市地域福祉計画策定中間報告等7カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

### 概要

③大崎市民病院改革プラン等について

乳幼児医療費助成制度の拡大等3カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

④大崎市民病院基本計画策定について

⑤大崎市民病院基本計画策定について

⑥大崎市民病院基本計画策定について

⑦大崎市民病院基本計画策定について

⑧大崎市民病院基本計画策定について

⑨大崎市民病院基本計画策定について

⑩大崎市民病院基本計画策定について

⑪大崎市民病院基本計画策定について

⑫大崎市民病院基本計画策定について

⑬大崎市民病院基本計画策定について

⑭大崎市民病院基本計画策定について

⑮大崎市民病院基本計画策定について

⑯大崎市民病院基本計画策定について

担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

### 産業常任委員会

#### 開催日

平成20年1月22日

#### 会議内容

- ①大崎市企業立地促進条例について
- ②大崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例について

(緑化面積の緩和措置)

- ③企業立地促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例について
- ④大崎市産業推進機構設立準備話合報告書について
- ⑤デステイネーションキャンペーンの進捗状況について
- ⑥大崎市鹿島台温泉供給条例の一部改正について
- ⑦平成19年度事業の進捗状況について
- ⑧平成20年度産米に係る需要量に関する情報について
- ⑨平成20年度農地・水・環境保全向上対策における営農活動支援交付金について
- ⑩平成20年度の主な事業につ

#### 概要

大崎市企業立地促進条例等10カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

#### 開催日

平成20年6月19日

#### 会議・視察内容

- ①平成20年岩手・宮城内陸地震による市内の施設等の被害状況調査について
- (農事組合法人みちのきのこ館、田尻地域諏訪峠地区排水溝損壊、凧菜・上の家、鳴子温泉地域上原地区の酪農の状況、鳴子温泉地域の観光施設等の被害状況)

#### 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災状況について、現地において担当者から説明を受けた。

#### 開催日

平成20年6月25日

#### 会議・視察内容

- ①平成20年岩手・宮城内陸地震による産業経済部所管の被害状況とその対応について

#### 概要

平成20年岩手・宮城内陸地

震による被災状況について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

#### 開催日

平成20年7月15日

#### 会議・視察内容

- ①肥料・資材価格の高騰等生産資材費の増加が今後の農業経営に及ぼす影響などについて
- ②農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みについて
- ③えさ米の現状と課題について
- ④多収穫品種栽培等について

#### 概要

肥料・資材価格の高騰等の農業経営に及ぼす影響等4カ件について、関係団体等から説明を受け、意見交換等を行った。



えさ米の栽培状況の説明を受ける

### 建設常任委員会

#### 開催日

平成20年2月13日

平成20年2月21日

平成20年6月27日

#### 会議内容

- ①請願第1号 地震対策促進住宅改修工事助成制度の創設を求める請願審査

#### 開催日

平成20年6月6日

#### 会議内容

- ①三本木パーキングエリア・スマートインターチェンジ社会実験について
- ②公共下水道卒埦排水区雨水整備事業について
- ③水道事業の計画について

#### 概要

三本木パーキングエリア・スマートインターチェンジ社会実験等3カ件について聞き取り調査を行い、担当部から資料を用いて説明、報告を受けた。

#### 開催日

平成20年7月3日

#### 会議・視察内容

- ①平成20年岩手・宮城内陸地震被害状況とその対応について

#### 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災状況について、現地において担当者から説明を受けた。

あなたも  
議事を傍聴してみませんか。

本会議を傍聴すると市政の様子がわかります。

#### ■議場の傍聴席で傍聴

大崎市役所三本木庁舎4階に傍聴の受付があります。一般席、報道席合わせて33人の定員となっております。

#### ■インターネットによる中継

議会のLIVE中継や録画映像が視聴できます。市のホームページからアクセスしてください。

また、市政情報センター(本庁東庁舎)や市政情報コーナー(各総合支所)等にあるパソコンでも視聴することができます。

#### 問い合わせ

議会事務局 ☎52-5838

# 一般質問

市政に対する一般質問は、6月27日、30日、7月1日の3日間の日程で、17人の議員が市長の見解を問いました。要旨は次のとおりです。

## 市民の一体化意識の醸成を進める方策

門脇 憲男

**問** 合併して3年。住民、職員、議会も我が町意識が強く出てくることは否めない。行政改革が強く問われる今、大崎市民としての一体化意識を早期に醸成する考えを伺う。

**答** まちづくりを進める上で、市民の「大崎市民」であるという認識と同時に、職員も「大崎市の職員」であるという認識は重要。平成19年度より本庁と総合支所、または総合支所間の人事交流も考慮してきた。特に職員の我が町意識は早く払拭したい。

ただし、職員も地域では、一市民として地域とかわるよう市長からも督励されている。

## 原油価格高騰の影響と対策

富田 文志

**問** 原油価格の高騰による石油製品の値上げは、私たちの生活に大きな影響を与えている。石油製品の値上げが、市政運営や市民生活、地域経済に与える影響と対策について伺う。

**答** 市政運営では、予算の範囲内で処理できる事務事業が制限されることや、企業などがコスト増による収益悪化から、税込減が予測される。今後の対応策については、情勢の推移を見守りながら、市民生活などの実態把握に努め、石油等高騰対策本部会議で実効ある方策を検討していきたい。



高騰するガソリン価格

## 国と地方の関係

高橋 憲夫

**問** 地方分権時代にあつて、社会保険庁から求められた国民年金保険料横領者の告発問題や道路特定財源問題への取り組み、後期高齢者医療制度問題への対応について伺う。

**答** 社保庁問題は論点のすりかえであり、地方いじめ、自治への侵害だと考える。道路特定財源問題については、道路にどれだけ予算を回せるか不透明であり、地方の裁量で事業執行できるように、行財政改革を実行し、道路を計画的に整備していきたい。後期高齢者医療制度に対しては、多くの意見や要望があり、その対応に追われてきた。全国市長会でも、円滑運営の措置を国に求めている。

## 情報通信インフラの整備

中鉢 和三郎

**問** 今回の地震災害を受け、防災行政無線の整備計画を前倒しにすべきではないか。

また、平成23年7月24日のテレビのアナログ放送終了に伴う「地デジ難民」の発生を

どのように防ぐ考えているのか。

**答** 今回の震災を経験し、防災行政無線の整備の重要性と必要性はさらに高まった。これまで平成28年度まで整備するとしていたものを2年前倒しして、平成26年までに整備する。

また、「地デジ難民」については、国及び放送事業者と連携し、行政の使命としてその発生を解消に努める。



地上デジタル放送PRポスター

## 三本木の長く続く法人の多額の滞納について

齋藤 博

**問** 固定資産税の滞納額が平成19年度末で、約3億2千200万円になっていたが、市ではすべて放棄することになる不納欠損処分を行った。これは、旧町での初期対応に誤りがあった結果と考える。関係者の処分と経過説明を地域の住民に行うべきではないか。

**答** 注意義務違反や職務怠慢

などの瑕疵はなく、関係職員の処分は該当しない。地域住民への説明は毎年9月の決算議会滞納整理の経過と結果を議会報告し、決算認定後に市広報で公表しており、特定の事案の説明はなじまないと考えられる。

## 非正規職員と正規職員の格差是正

小沢 和悦

**問** 大崎地方で働く労働者の約7割が年収200万円未満の非正規、たというのは、地域経済、生活水準にかかわる重大な問題である。市は、この格差改善に努めることになっているが、まず市が率先して正規職員と、年収180万円以下で、ボーナスも退職金もない非正規職員との格差是正を図るべきではないか。

**答** 国も賃金体系等を検討することなので、国同様に検討する。人事院が改善指針を示すようなので、それも視野に入れた改善も検討していきたい。



市政の基本姿勢を  
あらわす情報公開

佐藤 昭一

問 情報公開は、市政遂行の基本条例。

ところが、明々白々な条例違反で不開示決定を繰り返している。異議申し立てを受けた情報公開審査会から、「趣旨と目的を認識し、適切な運用をすべき」との厳しい指摘をされたが、認識と責務について何う。

答 情報公開審査会から答申された2件について、重く受けとめ、条例及び関係法令に沿った適切な運営に努めたい。市民協働を推進していく上で最も重要な要素の一つである情報公開制度について、一層の適正化に努めていきたい。

多重債務問題への  
取り組み姿勢について

小堤 正人

問 多重債務者が増加する傾向にある中、市民及び職員が一体となった多重債務者への支援体制、支援プログラムはできているのか。また、相談窓口の周知徹底を図るべきと思うが、弁護士や専門家との連携はとれているのか何う。

答 多重債務問題は、市として重点的に取り組むべき事項として力を入れていく。ペタランの相談員3名を配置、広報、ホームページ、チラシ等で周知を図っている。一人でも多くの相談に応じ、生活の立て直しを支援していきたい。

また、平成20年度から仙台弁護士会の御協力を得て、無料相談を開催している。

障害児(者) 日中  
一時支援施設の整備

相澤 久義

問 大崎市内から94名が古川養護学校に通学している。しかし、日中一時支援を受け入れられる事業所は、古川2施設、三本木1施設の3施設と少ない。各地域に受け入れ施設の整備が必要と考えるがどうか。

答 古川養護学校では、生徒個々の適正に応じ実習活動に取り組んでいる。

岩出山地域の大崎太陽の村では、いち早く就労継続事業に取り組み、田尻地域のすずかけの里も自立訓練、生活訓練並びに就労継続支援事業への移行準備を行っている。障害者の方々の就労状況は厳しい状況にあるが、就労に向け支援に努めていきたい。

子育て支援策

木内 知子

問 ①待機児童解消策として、認可外保育園への運営費補助の増額、②乳幼児医療費助成として、所得制限のゼロ歳児の撤廃、③妊産婦健診の5回までの助成拡大を図るなど、子育て支援策検討会議の提言のとおり、積極的な取り組みをすべきと考えるがどうか。

答 ①職員による幼児教育、児童保育施設運営調整会議を設置し、検討を進めている。②限られた財源の中では、今回提案の年齢拡大を優先すべきとらえている。③平成20年度から3回の健診実施とし



社会福祉法人おおさきさくら福祉会「すすかけの里」

た。健診回数については、検討しているところである。

病院経営の公設民営と  
指定管理者制度

高橋 喜一

問 岩出山分院の公設民営による建設と鹿島台、鳴子温泉両分院の指定管理者制度の導入を検討するとしている。

これは、民間的経営手法の導入による経営の効率化をねらいとするものであるが、どのように進めていくのか。

答 分院存続を求める市民の願いをかなえ、経営改善や医師確保等の諸課題を解決する観点から、公設民営と指定管理者制度導入の検討を進めている。それには、診療科目や病床数の規模等本院と分院の連携協力体制の確保が条件となり、市民に内容を示しながら検討を進めていきたい。

大崎市民病院  
事業について

笠森 健一

問 本院と各分院の医療の連携をどうするのか。地域包括ケアシステムの構築はどうするのか。

また、分院の公設民営、指定管理者制度の導入をどのよ

うに判断したのか。なぜ、直営ではできないのか。

答 新病院事業改革基本方針は民間の力、手法を取り入れ、地域医療を守り、同時に諸問題を解決したいとの観点から、分院の指定管理者制度導入の検討なども打ち出した。

地域医療体制を確保することが大前提であり、関係者による協議機関を設けるなど連携方策を実施する必要がある。

農業政策について

山田 和明

問 今、世界の食料情勢は危機的状況にある。しかし、我が国では生産調整をし、減反政策を実施している。

米政策を転換するには、この時期を逃してはならない。市でも食料・農業・農村政策推進本部を設置し、市長が陣頭指揮をとって、農業政策を遂行すべきと考えるがどうか。

答 近々、市内3つのJAと関係機関により、時代に即した今後の農業振興方策について協議することになっている。議員が提案の推進本部の設置を視野に入れて、検討していきたい。





祥雲閣

団体育成と指定管理

加藤 善市

問 各体育施設や祥雲閣の管理を、体育振興や文化振興を目的とする団体に、指定管理をさせるべきと考えるがどうか。

答 集中改革プランでは、平成21年度までに、指定管理者制度への移行を目指すことにしている。公の施設の見直し、検討スケジュールに基づき、各体育施設の検討段階に入っている。祥雲閣への指定管理者制度の導入、あわせて文化団体が指定管理者を受託できないものか、各種構成団体の活動の育成をしながら考えていきたい。

新学習指導要領 移行への取り組み

三浦 康夫

問 約30年ぶりに学習内容や授業時間数が増加に転じる学習指導要領移行措置が平成21年度から実施になる。学習内容がふえた分、余裕を持った授業ができるのか、授業の効率化で生徒の理解度に影響は出ないのか、そして、教職員の負担の程度を伺う。

答 子供の理解度については、学習方法、学習態度、学習の習慣化ということをきちんと小学校の段階から形成していくことが課題と考える。新学習指導要領に向けた実践的視点から、教材や授業の検討、小中の連携など、移行期間中に教員支援を行っていく。

伸びゆく子供たちへの 教育施策

只野 直悦

問 青少年功績者表彰は、平成19年改正し運用されたが、全国優勝のみとハードルが高過ぎる。実のある規程に見直すべきと思うがどうか。

また、学校給食基本構想での現状と課題を踏まえ、子供たちの健康面や真の食育には、

完全米飯給食が望ましい形と思うが、市の方針を伺う。

答 表彰規程については、学校関係者の意見を聞き、青少年の明るい活躍や行動が、青少年表彰に反映されるよう検討していきたい。

学校の適正規模と 学区の再編

木村 和彦

問 複式学級や全学年が1クラス。一方、全校児童数が1千名に近い小学校など、余りにも学校規模の格差が広がっている。保護者や住民の意見を大切にしながら学校の再編を検討すべきと思うがどうか。

答 通学の安全性や学校の適正規模を考慮しながら、通学区域の見直しや統廃合等について検討を行う必要がある。平成20年3月、学校教育環境部内検討委員会を設置して、今後の進め方等について議論を行っている。また、教育委員と意見交換を始めているが、PTAや市民代表等外部検討委員会を設置の方向で準備中である。

請願・陳情される方へ

市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させる方法として、市議会への「請願」「陳情」の制度があります。

「請願」「陳情」は、いつでも受付いたしますが、手続等については、議会事務局（TEL 5 2 - 5 8 3 8）にお問い合わせください。

請願・陳情のしかた

請願

紹介議員1人以上の署名または記名捺印あればどなたでも提出することができます。

【書き方・注意点】

- ① 請願の件名（〇〇に関する請願）
- ② 請願の趣旨・理由
- ③ 請願者の住所、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者の氏名）、提出年月日を記載し、押印してください。
- ④ 紹介議員1名以上の署名または記名押印を受けてください。

陳情

陳情書は、議員の紹介が必要ありませんので、紹介議員の箇所を除いて、請願書の例を参考に提出してください。

※当該定例会に関する審議を行う議会運営委員会招集日の2日前の午後3時までに提出された請願は、その定例会の会期中に審議されます。

【様式例】

〇年〇月〇日

大崎市議会議長 ○○○○ 殿

紹介議員（請願のみ）氏名○○○○印

請願（陳情）者

住所 ○○○○○○○○

氏名（代表者） ○○○○印

○○○○〇〇に関する請願（陳情）

1 請願の趣旨

○○○○○○○○○○○○○

2 請願の理由

○○○○○○○○○○○○○

## 第2回臨時会

平成20年第2回臨時会が、7月28日に招集され、7月29日までの2日間の日程で行われました。

今臨時会には、平成20年6月14日に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」に関係した、平成20年度大崎市一般会計補正予算を初めとする予算案4件、条例案1件、承認案1件、報告1件、が提出され、全議案とも原案のとおり可決されました。  
質疑の主な内容は次のとおりです。

### 職員削減と危機管理

**問** 約40年の間隔で起こると言われている宮城県沖地震が、既に30年を経過している中で、今後市職員が削減された場合の危機管理の体制を考える必要があるのではないかと。

**答** 職員の動員体制のあり方等、ルーラ化が必要である。災害等にてできるだけ効率的に動ける部分と地域における活動の部分とをすみ分けしながら、仕組みづくり等に取り組みしていきたい。

### 鳴子上原簡易水道

**問** 鳴子上原簡易水道に仮設のろ過設備が設置されたが、7月24日に発生した地震による被害等はなかったのか。

**答** 日量300トンをカバーする能力のある、仮設のろ過装置を設置している。余震等があったが被害はなく、給水を継続している状況にある。



鳴子上原簡易水道仮設ろ過装置

### 災害時の生活支援の手引

**問** 地震発生時における、生活支援の諸制度等がわかる手引のようなものが必要ではないか。

**答** 今回の地震で、いろいろな問題点が明らかになった1つに災害時の手引がある。検討、検証を行っているが、今回予算を計上するまでに至らなかった。  
今後の災害に向け、備えていきたい。

### 防災訓練

**問** 平成20年岩手・宮城内陸地震の前に、岩出山地域のあつたか村で防災訓練が行われた。屋外での防災訓練は重要と考えるが、机上において有事を想定した訓練も必要ではないか。

**答** 机上訓練も重要であると思うので、期間を置かないように訓練等を行っていきたい。



防災訓練

### 民間に対する相談体制

**問** 民間施設等の災害に対する相談体制は、どのようになっているのか。

**答** 民間では、今回の地震による風評被害が極めて大きいものにとらえながら、相談業務を進めてきた。既に、59件

の融資等の相談が寄せられており、利子補給等の対応を検討していきたい。

### 農道橋災害復旧工事

**問** 災害復旧工事を行う、古川飯川地区の渋川にかかる農道橋は、完全に壊れてしまったのか。

**答** 橋脚等にひびが入ったため、現在通行どめになっている。現段階では全面的な改修工事を行う計画の予算を計上したが、今後調査して、再度積算を行う。



古川飯川地区農道橋

### 災害時の情報伝達手段

**問** 震度5以上の地震発生時には、消防団の警戒体制をし

ている。古川・田尻地域では、移動系無線を使用し情報のやりとりを行っていたが、他の地域ではどのような手段で行っていたのか。

**答** 移動系無線等がない地域については、担当するエリアの警戒状況を、各総合支所の現地災害対策本部へ直接足を運んでもらうなどの方法により、情報のやりとりを行った。

### 昭和56年以前建築の公民館等

**問** 昭和56年以前に建設された公民館施設等は何棟あるのか。

また、今後の地震対策の進め方は。

**答** 昭和56年以前に建設された公民館施設等は、16施設ある。昭和40年後半から昭和50年代に建てられた施設がほとんどであり、避難所になっている施設もあることから、早急に耐震診断を実施していきたい。

## 第2回臨時会

傍聴人数

2人

※皆様の傍聴をお待ちしております。

人事

◎人権擁護委員

酒 匂 本 誠 氏  
鳴子温泉字野際6番地

◎農業委員会委員

笠 森 健 一 氏  
(大崎市議会議員)

高 橋 順 子 氏  
古川桑針字元村前8番地

三 浦 秀 子 氏  
三本木新沼字中谷地85番地1

高 橋 英 理 子 氏  
鳴子温泉鬼首字山崎38番地

特別委員会設置

平成20年岩手・宮城内陸地震災害による被害状況及び復旧対策について調査するため、議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置いたしました。

平成20年岩手・宮城内陸地震災害対策調査特別委員会  
委員長 小 沢 和 悦  
副委員長 晴 山 宗 規

第2回  
定例会

議会中継  
(LIVE)  
アクセス件数  
**687**  
件

意見書

今定例会において、議員提出による意見書9件(議案第115号(同第123号)が提出され、原案のとおり可決されました。)

◎議案第115号 地域医療を守る意見書

◎議案第116号 「嫡出推定」に関する民法改正と救済対象の拡大を求める意見書

◎議案第117号 障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書

◎議案第118号 福祉人材確保及び老人福祉施設等の整備に関する意見書

◎議案第119号 一級河川の権限移譲に関する意見書

◎議案第120号 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

◎議案第121号 地方財政の充実強化を求める意見書

◎議案第122号 原油穀物価格高騰によって危機的状況にある地域農業の確立と食料自給率向上対策を求める意見書

◎議案第123号 地方分権改革における地方農政局等の見直しに関する意見書

請願

今定例会で審議された請願は、次のとおり決定されました。

【採択としたもの】

◎請願第3号 「核兵器廃絶平和のまち大崎市宣言」の早期実現を求める請願

【不採択としたもの】

◎請願第2号 「後期高齢者医療制度」の廃止を求める意見書提出についての請願

表彰

5月28日に開催された第84回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として20年以上在職し、市政の振興に努めた功績により、2名の議員が表彰を受けられました。

佐 藤 勝  
青 沼 智 雄

議会中継のお知らせ

本会開催中、インターネットによるライブ中継を実施しております。ホームページアドレスは次のとおりです。  
<http://www.city.osaki.miyagi.jp/sikai/>

【第2回定例会】

議案番号	議 案 名	審議結果
報告第 5号	平成19年度大崎市一般会計繰越明許費繰越計算書	—
報告第 6号	平成19年度大崎市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	—
報告第 7号	平成19年度大崎市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書	—
報告第 8号	平成19年度大崎市水道事業会計予算繰越計算書	—
諮問第 5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
議案第 92号	平成20年度大崎市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 93号	平成20年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第 94号	大崎市市税条例等の一部を改正する条例	
議案第 95号	大崎市中心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 96号	大崎市立幼稚園預かり保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 97号	大崎市農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 98号	大崎市過疎地域自立促進特別措置に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	
議案第 99号	大崎市都市計画税条例の一部を改正する条例	修正可決
議案第100号	大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	

議案番号	議案名	審議結果
議案第101号	大崎市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第102号	大崎市児童館条例の一部を改正する条例	
議案第103号	大崎市手数料条例の一部を改正する条例	
議案第104号	大崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	
議案第105号	大崎市道路占用料条例の一部を改正する条例	
議案第106号	大崎市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第107号	大崎市後期過疎地域自立促進計画の変更について	
議案第108号	指定管理者の指定について（大崎市大貫西部地区地域農業活動拠点施設）	
議案第109号	指定管理者の指定について（大崎市鳴子温泉ゆめぐり広場）	
議案第110号	財産の取得について（市民広場及び図書館等の建設用地）	
議案第111号	工事委託に関する基本協定の締結について（古川師山水浄化センター建設工事）	
議案第112号	工事請負契約の締結について（古川第二小学校校舎耐震補強及び大規模改造工事）	
議案第113号	工事請負契約の変更契約の締結について（鹿島台小学校校舎耐震補強及び大規模改造工事）	
議案第114号	市道の路線廃止及び認定について	
議案第115号	地域医療を守る意見書	
議案第116号	「嫡出推定」に関する民法改正と救済対象の拡大を求める意見書	
議案第117号	障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書	
議案第118号	福祉人材確保及び老人福祉施設等の整備に関する意見書	
議案第119号	一級河川の権限移譲に関する意見書	
議案第120号	国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書	
議案第121号	地方財政の充実強化を求める意見書	
議案第122号	原油穀物価格高騰によって危機的状況にある地域農業の確立と食料自給率向上対策を求める意見書	
議案第123号	地方分権改革における地方農政局等の見直しに関する意見書	

※   は議員提出議案です

【第2回臨時会】

議案番号	議案名	審議結果
報告第9号	専決処分の報告について	—
議案第124号	専決処分の報告について承認を求めることについて	原案承認
議案第125号	平成20年度大崎市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第126号	平成20年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第127号	平成20年度大崎市鳴子上原簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第128号	平成20年度大崎市水道事業会計補正予算（第1号）	
議案第129号	大崎市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例	

◆情報化対策特別委員会◆

- 委員長 木内知子  
 副委員長 佐藤弘樹  
 委員 中村和郎  
 委員 横山悦彦  
 委員 笠森健一  
 委員 三浦幸治  
 委員 〃  
 委員 〃  
 委員 〃  
 委員 〃  
 委員 〃

**編集を終えて**

去る5月21日の平成20年第1回臨時会において、新しい議会構成が決まり、情報化対策特別委員会も新たなメンバーでスタートいたしました。

今、本市では、大崎市総合計画のもと、平成22年度までの実施計画を推進する中で、議会は、年4回の定例会を柱に、各委員会等で活発な議論や活動を展開していきます。

本特別委員会は、その議会活動をわかりやすく、見やすい紙面づくりで市民の皆さんにお知らせする「市議会だより」を発行するとともに、高度な情報化の進展に伴う情報公開システムや公聴会のあり方等に関する調査を行いながら、今後さらに充実したものにすべく、委員一同決意を新たにしております。